

<p>研究成果</p> <p>3,000 字程度 (別紙添付可)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災で甚大な被害を被った陸前高田に赴き、記念館、奇跡の一本松、資料館を訪れ、当時の状況と復興について、- 視察した。また、当時被災者であり、避難所で調理を担当した阿部さんから当時の話を伺った。沖縄において、大震災が発生したときに、情報、インフラが遮断され、公的支援が発生後の3日後に届くような状況での、支援や協力のあり方を考察した。また、阿部さんから当時の状況を記録した手記の提供を受けた。 ・沖縄大学経法商学部紀要第1号で、研究成果の一部を公表した。 ・沖縄大学地域研究班に設置されている「沖縄における自然災害・戦争災害等の多様な災害の総合的研究」(研究代表者:圓田浩二)を中心として、20加年11月24日(火曜日)に本館一512研究室において13時から16時の間で開催した、河合壘・岩手大学人文社会科学部准教授、藤井怜!沖縄大学地域研究所嘱託研究員(岩手大学大学院総合科学研究科修士課程1年)の「沖縄訪問調査(自然災害と労働法)」に伴う研究会で報告された内容をもとに文章化したものである。なお、両名は:翌11月25日には、本研究班員である稲垣暁・防災士とともに那覇市役所,宜野湾市所の防災対策関連部署の実態調査も行っている。この内容は、沖縄大学経法商学部紀要第2号において「沖縄における自然災害・戦争災害等の多様な災害の総合的研究」の特集を組み、研究成果として公刊した。コロナ禍に見舞われているにもかかわらず、本研究班は、比較的、順調に研究活動が進捗していると考える。
--	---